

平成 30 年度事業計画書

1 基本方針

安芸太田町の人口は平成 16 年の町村合併時には 8,784 人でしたが、平成 29 年 12 月末には 6,471 人と急激な人口減となっています。また、団塊の世代が 65 歳を超え、本格的な超高齢化社会に突入していますが、安芸太田町の高齢化率は平成 29 年 12 月末には 49.02% となり、超高齢化地域となっています。

こうした状況の中、安芸太田町シルバー人材センターは、従来の「共に働く高齢者の拠点」として「就業を通じた会員による地域貢献」に加え、「高齢者のための多様な就労機会の確保」や、「経済的自立に向けた支援」という目的についても、その役割を一層発揮していくことが求められています。そのためにも、一人でも多くの会員が就業に結びつく事ができるよう就業機会の拡大に向け、取り組んでいきます。

当シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものがありますが、センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の認識を高め、会員・役員が一丸となり、公益法人としての適正・効率的な事業運営を行い、地域社会の負託に応えるべく以下の事業推進に努めることとします。

2 事業実施企画 《公 1》

(1) 普及啓発活動 《公 1》〔1〕 4 - (1)

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、一般町民、事業所、官公庁に対して、シルバー事業の意義と基本的な理念、仕組み等を再度周知すると共に、全会員に意識啓発を行う普及活動を行います。

会員入会促進については、130 人(現 124 人)の会員数を目標とし、その中でも昨年度に引き続き女性会員の入会促進を図ることとします。

(2) 安全就業の確保 《公 1》〔1〕 4 - (2)

会員の安全就業の確保について、安全委員会が中心となって必要に応じ就業現場の安全パトロールを実施する等事故の未然防止に努め、必要な知識や技術の向上に努めます。重篤事故の撲滅を目指し、就業中及び就業先の往復途上の事故についてもゼロを目指します。

(3) 就業機会の開拓・適正就業 《公 1》〔1〕 4 - (3)

地域の家庭、事業所、官公庁等を訪問し、会員にふさわしい仕事を積極的

に開拓するとともに、会員の修業能力や把握分析をし、地域のニーズに対応する仕事の提案を行います。近年、超高齢化社会に対応するため、介護保険事業の要支援者への家事援助等の需要が望まれることを踏まえ、受け皿としての対応に努めることとします。また、全国的に課題となっている空き家の管理について、当シルバー人材センターで受注できるよう条件整備を進めいきます。会員の適正就業については、自主点検を行い適材適所に応じた仕事の対応に努めます。派遣事業においても積極的に推進することとします。

(4) 社会参加活動の推進 《公1》〔1〕4－(4)

ボランティア活動として、シルバー普及月間である10月第3土曜日を「シルバーの日」として設定し、町内3地域において、感謝の意を込めて公共施設等の奉仕活動を実施します。

(5) 講習会・研修会 《公1》〔1〕3

会員、一般町民を対象に、刈り払い機の安全取り扱い講習、高齢者の交通安全講習会、庭木の剪定等講習会など各種講習会を開催し、会員の更なる就業知識の高揚と技術の向上に努めます。

(6) 職業紹介事業 《公1》〔1〕2－(1)

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、「臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他軽易な業務に係る就業」について、ハローワークと緊密な連携を図り、有料の職業紹介事業を実施します。

(7) 労働者派遣事業 《公1》〔1〕2－(2)

仕事の受注増、会員の幅広い就業形態を確保するため、シルバー派遣事業を促進し、積極的に派遣事業に取り組みます。

(8) 総会及び会議の開催

・ 定時総会	年1回	5月下旬
・ 定時理事会	年3回以上	
・ 安全就業委員会	年2回以上	
・ 就業開拓推進委員会	年4回以上	

(9) 財政運営

国及び町における補助金の削減等、センターを取り巻く環境は厳しさを増していますが、経常経費の支出削減に務め効率的な財政運営に努めます。

(10) 事務局組織体制の充実及び機能強化

公益法人として、関係法令を遵守した事業運営を行うと共に、公共性を重視した事業の運営に努め、役員を含め組織の充実強化に努めます。

課題に対応できる人材の育成に努め、関係団体が主催する研修会に積極的に参加し、学習機会の確保、知識の習得を図り、資質の向上に努めます。